

| | 令和2年度取組実績 | 令和3年度取組内容 |
|---|---|---|
| <p>■ふくしま建設業振興プランの改定</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・現プランの評価として、取組実績と指標の達成状況を整理した。 ・今後のプラン改定の素案作成に先立ち、県内建設業の課題の分析に取り組むこととした。 | <ul style="list-style-type: none"> ・県内建設業の課題の分析結果を踏まえ、骨子、中間とりまとめ案の作成、パブリックコメントを経て、R3年内に改定を行う。 本協議会 議事(2) |
| <p>■職場環境のあり方と魅力を伝える広報</p> <p>①担い手確保に向けた広報</p> <p>②既存広報の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生との座談会 ・高校生の現場見学会 ・小学生及び親子の現場見学会 <p>③新たな広報手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校写真部の現場見学会 ・建設チャンネルによる発信 ・進路指導担当教諭への説明会 | <p>①職場紹介インスタグラムの取組内容を検討し、運用を開始した (R3.3.29)。</p> <p>②・高校生との座談会 ……4校で開催。 (岩瀬農業、二本松工業、福島明成、福島高専)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の現場見学会 ……10校で開催。335名参加。 ・小学生及び親子の建設現場見学会 ……小学生：5校145名 親子：10組20名 <p>③・高校写真部の現場見学会 ……協議会において、実施内容を議論。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設チャンネルによる発信 ……建設業協会において、「ふくしま建女会」メンバーのインタビューを掲載。 ・進路指導担当教諭との意見交換 ……建設業協会において、進路指導担当教諭との意見交換内容を検討。 | <p>①職場紹介インスタグラムの運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営担当者会議を定期的開催し、取組の充実を図る。 →幹事会・協議会へも報告 ・幅広く周知するため、外部の広報誌等への掲載を働きかける。 本協議会 議事(3) <p>②・高校生との座談会 ……4校程度で開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の現場見学会……14校程度で開催予定。 ・小学生及び親子の現場見学会 ……小学生：6回、親子：1回開催予定。 <p>③・高校写真部の現場見学会を新たに開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設チャンネルについて、コンテンツ内容を充実させ、サイトの浸透に取り組む。 ・進路指導担当教諭との説明会を教育庁と調整の上、実施する。 |
| <p>■包括的維持管理</p> <p>①性能規定導入検討</p> <p>②MMR導入検討</p> <p>③市町村道を含めた維持管理の検討</p> | <p>①宮下地区にてR2より性能規定(除草)を試行し、業務内容の検証を行った。</p> <p>②MMRの要件案を整理するとともに、宮下地区にてR3よりMMRを試行導入することとした。</p> <p>③市町村道も含めた維持管理に関する市町村との意見交換を実施した。</p> <p>⇒①～③：地域の実情に応じ導入を検討していくこととした。</p> | <p>①宮下地区にて、性能規定(除草)を本格導入する。</p> <p>②宮下地区にて、MMRを試行導入する。</p> <p>③市町村道を含めた維持管理の検討を継続して実施する。</p> |
| <p>■働き方改革</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・産官における働き方改革に関する各取組の現状、課題、方向性をとりまとめるとともに、振興プランの改定において、施策として反映していくこととした。 ・情報共有システムについては、使いやすい環境整備に向け、県において具体的な取組を進めていくこととした。 | <ul style="list-style-type: none"> ・振興プラン改定において、働き方改革に関する各取組の方向性を反映する。 ・情報共有システムについて、対象工事を全ての土木工事に拡大(拡大前：当初請負金額30百万円以上)。 また、受発注者が求めている機能(R2アンケートより整理)を全て有するシステムを操作研修の対象とし、活用促進を図る。 |
| <p>■ICTの活用</p> <p>①ICT活用証明書やインセンティブの検討</p> <p>②講習会の深化検討</p> <p>③工事外での活用検討</p> | <p>①R2より総合評価方式での加点を導入した。</p> <p>②R2より「ICT活用工事チャレンジ支援事業」を創設し、専門家派遣による技術的支援を実施した。また、ウェブ形式の講習会を導入した。</p> <p>③R2より設計業務においてBIM/CIMを試行導入した。</p> | <p>①～③左記を継続して実施するとともに、R3.1より導入した発注者指定型、プロセス選択型の推進等により、更なる活用を進める。</p> |